

正 誤 表

ページ	誤	正
表紙裏(目次) 〃	片山寿 ヤグネシウムの 多いが $Ti-Sn=$ 元合金 不動性 10 $Ma \longleftrightarrow Mg$ reregenerant 流出中の rate determined $C-a^{++}$ $K = \frac{\log(a_0 - a_\infty)/(at - a_\infty)}{0.4343t}$ 選択係数を K_{Mg}^H 算出 (9)式よくあてはまり 相当直径 Re $Pe = 2 \times 10^5$ N対 [$p^{0.77} \cdot Ro$] ににべて Volne C. D. $V = 75\text{cm}^3$ 0.39 liter ature 必要は 図10 $V = 0.41$ S cm^2 速迅分析法 Kennyon Beaich Al_2O_3 SiO_2 0.10 分離ならびに定量法(第1報) in the the resn 0.6N HCl 米国 Rohn $N-CN_2CN_2 \cdot N \dots \dots$ \vdots $\{CH_2COOH\}_n$ 一定の	片山寿次 マグネシウムの 多いが $Ti-Sn=$ 二元合金 不働性 1.0 $Na \longleftrightarrow Mg$ regenerant 流出液中の rate-determined Ca^{++} $k = \frac{\log(a_0 - a_\infty)(Ca + - a\alpha)}{0.4343 t}$ 選択係数 K_{Mg}^H を算出 (9)式によくあてはまり 相当直径 De $Re = 2 \times 10^5$ N対 [$p^{0.77} \cdot Re$] に比べて Value C. P. $V = 75\text{cm}^3$ の場合 0.36 literature 必要な 写10 $V = 0.41l$ S (cm^2) 迅速分析法 Kenyon Bewick $Al_2O_3 + Fe_2O_3$ SiO_2 0.01 分離ならびに定量法 in the resin 0.5N HCl 米国 Rohm $N-CH_2CH_2 \cdot N$ \vdots $\{CH_2COOH\}_n$ 一定量の
278 ページ上より8行		
284 〃 右下より3行		
285 〃 左上から4行		
286 〃 Fig 2		
289 〃 左下より3行		
〃 〃 上より17行		
292 〃 表5		
294 〃 上より16行		
〃 〃 右 11行		
295 〃 左下より13行		
〃 〃 右下より7行		
298 〃 右下より15行		
305 〃 左上より6行		
〃 図4		
〃 〃 5		
307 ページ左下から3行		
308 〃 上から8行		
〃 左下から4行		
309 〃 右		
〃 表2		
312 ページ上から7行		
315 〃 右上から11行		
317 〃		
319 〃 表5の下		
319 ページ 表5 (Exp.No.3)		
328 〃 表題		
〃 上から12および 14行		
329 〃 上から5行		
331 〃 右下から14行		
336 〃 表題上より2行		
336 ページ 上から 15行		
〃 〃 17行		
337 ページ左上から3行		
337 〃 左上より12行		
〃 〃 13行		
339 〃 右上から3行		